

# 日野市地域公共交通会議

## 第3回会議資料

1. 現況調査の中間報告 .....	1
調査の目的と概要 .....	1
調査結果（中間報告） .....	10
2. 連携計画の策定について .....	25
計画策定の方向性 .....	25
計画策定スケジュール .....	25
3. ワゴンタクシーの	
運行継続について .....	26
ワゴンタクシーの運行状況 .....	26
ワゴンタクシーの利用実態 .....	27
運行継続について .....	27

平成20年12月17日

## 1. 現況調査の中間報告

### 1.1 調査の目的と概要

日野市は、市内南北交通の連携と交通空白地域解消のため、ミニバス（7 路線）と乗合のワゴンタクシー（2 路線）を運行している。しかし、路線数の増加や高齢化の進展等に伴い、以下の点が課題となっている。

- ①ミニバス・ワゴンタクシーは、9 路線のうち 7 路線が市役所・市立病院を經由しており、この区間で路線が集中している。
- ②幹線道路となる都市計画道路の整備が進んでおり、道路体系に合わせた路線配置が必要とされている。
- ③高齢化の進展に伴い市内全域で公共交通の更なる充実が求められている。特に丘陵地の宅地造成地においては深刻な問題となっている。

以下の課題を踏まえ、地域の実情にあった効率的な公共交通網を確立するため、日野市地域公共交通総合連携計画を策定することとなった。

本調査は、計画策定に必要な現況データ収集を目的に実施するものである。

実施調査の概要は以下の通りである。

調査名	調査目的	調査概要
モビリティ評価	市内移動に関する地域課題の抽出	市内各地域から主要施設（駅、公共施設（市役所等）、病院）へのモビリティ（移動性）を評価
OD調査	路線集中区間を中心にミニバスの利用実態を把握	ミニバス 4 路線（路線集中区間関連路線）及びワゴンタクシーの利用者を対象に乗降停留所及び性別・年代（外見で判断）を調査
市民アンケート調査	市民の交通実態・交通行動・公共交通利用頻度・要望等を把握	市民 4000 人にアンケート票を郵送配布・回収し、左記事項を調査（別添アンケート調査票参照）

その他、バス事業者よりミニバス便別利用者数データの提供を受け、計画策定の基礎的資料として整理する。

実施調査の活用方法については次ページ図に示す。

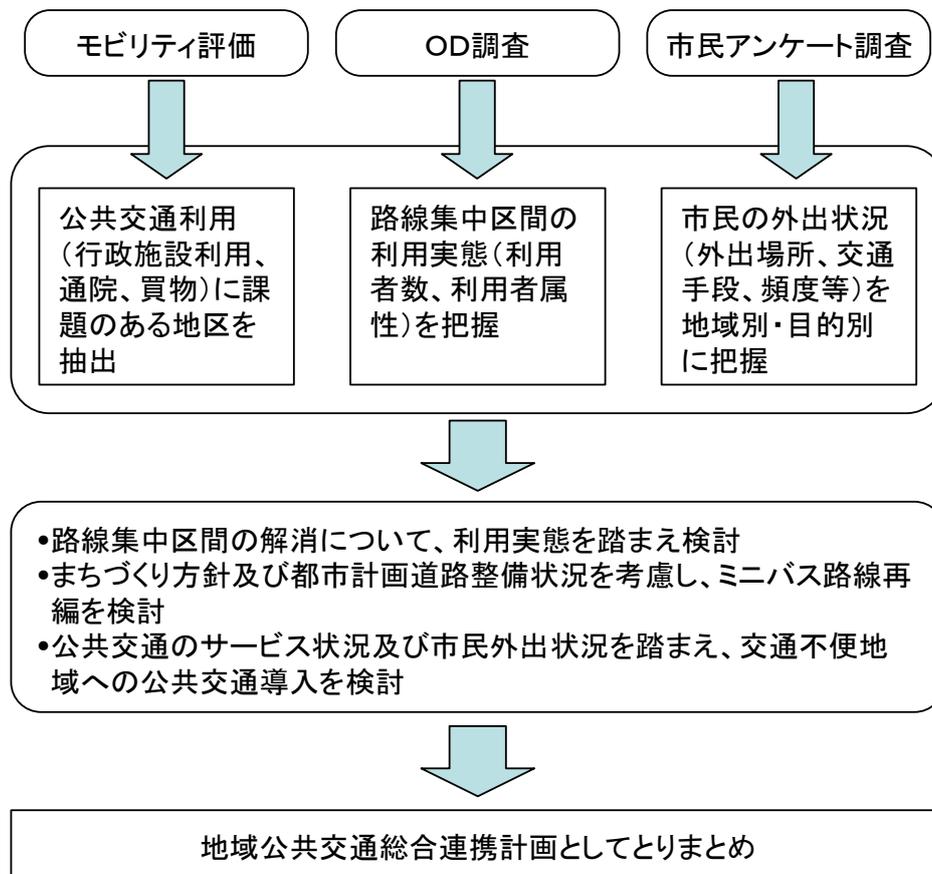


図 1.1 実施調査の活用方法

### 1.1.1 モビリティ評価

#### (1) 評価する地域の単位

日野市内に関連する4次メッシュ区画※（約500m四方・世界測地系）、合計121区画を評価単位とする。各区画の中心点から、評価対象施設までの所要時間等を評価（評価対象施設及び評価指標については次項以降を参照）する。



図 1.2 評価する地域単位（4次メッシュ区画）

※：4次メッシュ区画

メッシュ区画とは、地図上の地域を網の目状の小区画に区分した等形または等積の区画で表現したものであり、国勢調査のデータ整理にも活用されている。その大きさに応じて、1次メッシュ区画～4次メッシュ区画が提供されている。1次メッシュ区画～4次メッシュ区画の定義を下表に示す。

1次メッシュ区画 （約80km四方）	経度1度、緯度40分毎の経度緯度で作成された区画。国土地理院の1/200,000地勢図1面に相当する。
2次メッシュ区画 （約10km四方）	1次メッシュの縦横をそれぞれ8等分し作成された区画。
3次メッシュ区画 （約1km四方）	2次メッシュの縦横をそれぞれ10等分し作成された区画。
4次メッシュ区画 （約500m四方）	3次メッシュの縦横をそれぞれ2等分して作成された区画。

(2) 評価対象施設

各区画中心点からのモビリティの評価は、次の施設に対して実施する。

①日野市民病院（東京都指定二次救急医療機関）
②花輪病院（同上）
③日野市役所
④行政施設（市役所及び支所）
⑤商業拠点（日野駅、豊田駅、高幡不動駅の三大拠点）
⑥主要集会施設
⑦文化施設
⑧交流センター
⑨図書館
⑩福祉センター
⑪温水プール

なお、①～③については個別施設を対象に評価を行うが、④以降については対象に複数施設が含まれており、評価は各区画中心点から最寄りの施設を対象に実施する。例えば、落川周辺（市の東端）から図書館へのモビリティ評価を行う際は、最寄りの図書館である百草図書館（百草園駅前）が評価対象となる。

④～⑪について、評価対象施設は以下の通りである。

施設名	施設名
④行政施設	⑧交流センター(続き)
市役所	多摩平交流センター
豊田駅連絡所	豊田駅北交流センター
七生支所	南平駅西交流センター
⑤商業拠点	東町交流センター
豊田駅	落川交流センター
日野駅	新町交流センター
高幡不動駅	万願寺交流センター
⑥主要集会施設	⑨図書館
生活・保健センター	中央図書館
東部会館	多摩平図書館
多摩平の森ふれあい館	高幡図書館
平山季重(すえしげ)ふれあい館	日野図書館
勤労・青年会館	平山図書館
市民活動支援センター	百草図書館
⑦文化施設	⑩福祉センター
市民会館	中央福祉センター
七生公会堂	高幡福祉センター
中央公民館	湯沢福祉センター
中央公民館高幡台分室、郷土資料館	七生福祉センター
⑧交流センター	⑪温水プール
多摩平交流センター	生活保健センター温水プール
平山交流センター	東部会館温水プール
平山台健康・市民支援センター	

### (3) 評価指標

評価指標は以下の通りである。

- 目的地までの所要時間（公共交通利用時）
- 目的地までの所要時間差（公共交通利用時と自動車利用時との所要時間差）
- 目的地までの所要時間比（公共交通利用時と自動車利用時との所要時間比）
- 目的地までの乗り換え回数
- 評価メッシュ区画における平均バス運行本数  
(メッシュ内バス停における総運行本数÷メッシュ内バス停数)
- 評価メッシュ区画の標高（全メッシュ平均標高との差）
- 評価メッシュ区画の道路整備率  
(区画内全道路延長に占める幅員 5.5m 未満道路延長の割合)

### (4) 評価方法

各評価指標について市内各メッシュ中心から評価対象施設までの評価値（所要時間、乗り換え回数等）を算出し、それぞれを点数化する。

#### ★点数化の例（所要時間）

- 所要時間 15 分以内 : 1 点
- 所要時間 15 分～30 分 : 2 点
- 所要時間 30 分～45 分 : 3 点
- 所要時間 45 分以上 : 4 点

指標毎に算出された点数の総和により、評価対象メッシュのモビリティを評価する。

## 1.1.2 OD調査

### (1) 調査対象路線

下図に示す4路線(5系統)。7路線運行されているミニバスのうち、ターミナル(日野駅、豊田駅、高幡不動駅)を跨ぐ路線を対象とした。南平路線はターミナルを跨がないが、2系統に分かれ3ターミナルを接続する路線であることから、同路線の2系統は調査対象とした。

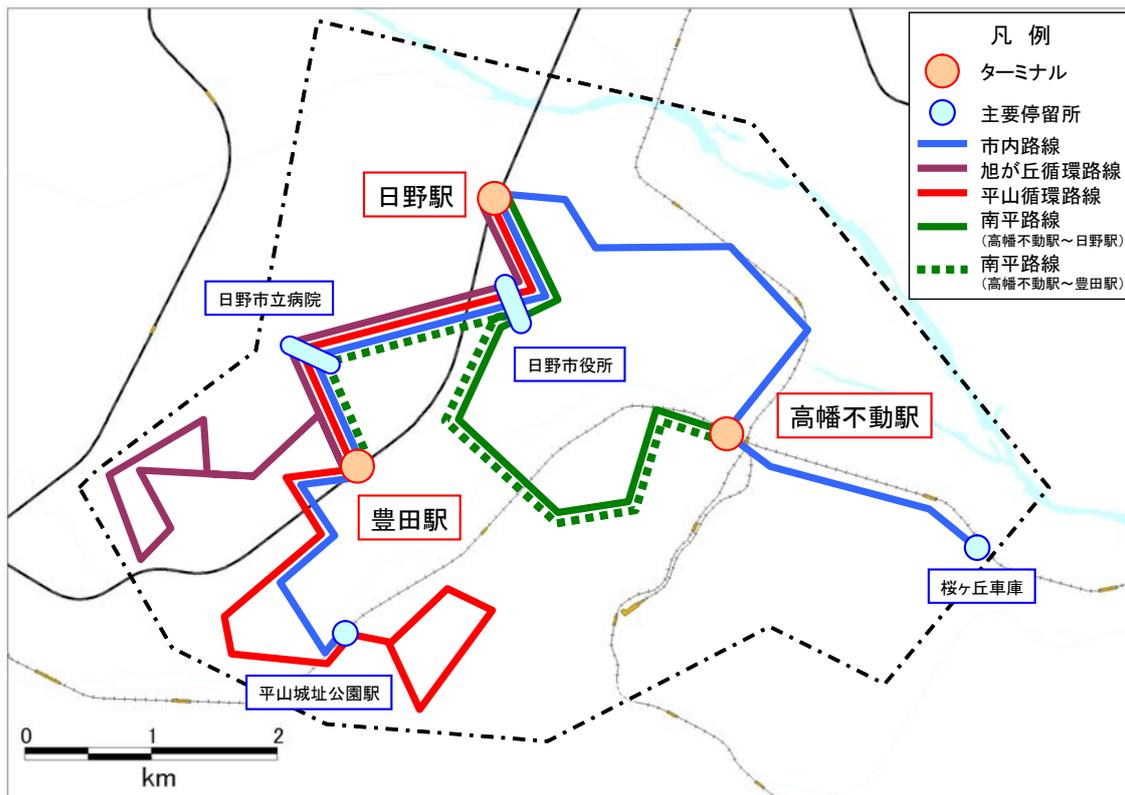


図 1.3 OD調査対象路線図

### (2) 調査日

11月11日(火) 天候:曇り

### (3) 調査内容

調査は以下の手順で実施した。

- ①バス車内の乗降口に調査員を1名ずつ配置
- ②利用者が乗車する際、乗車口に配置された調査員が乗降調査票(次ページ参照)の「乗車バス停」番号に○を付け、調査票を乗客に渡す。その際、降車時に回収する旨を伝える。
- ③乗客の降車時に降車口付近に配置された調査員が調査票を回収し、「降車バス停」番号に○を付ける。
- ④調査員の判断で、回収した調査票に「性別」「およその年齢」を記入する。

## 日野市ミニバス乗降調査 調査票

ミニバス利用者の皆様が、どこで乗車し、どこで降車したのかを把握するための調査です。この調査票は、降車時に腕章をした調査員に渡してください。ご協力をお願いします。

日野市／京王電鉄バス

調査日：平成20年11月 日（ ）

1 桜ヶ丘車庫 発

2 平山城址公園駅 発 （出発時刻： ）

乗車バス停		降車バス停	
1	桜ヶ丘車庫	1	桜ヶ丘車庫
2	百草園駅	2	百草園駅
3	京王変電所	3	京王変電所
4	三沢	4	三沢
5	高幡不動駅	5	高幡不動駅
6	南新井	6	南新井
7	日野高校	7	日野高校
8	万願寺	8	万願寺
9	下田	9	下田
10	日野万地区センター	10	日野万地区センター
11	中央道バス停下	11	中央道バス停下
12	仲井北	12	仲井北
13	生活保健センター	13	生活保健センター
14	日野本町	14	日野本町
15	日野駅	15	日野駅
16	日野一小入口	16	日野一小入口
17	新選組のふるさと歴史館前	17	新選組のふるさと歴史館前
18	実践女子短大	18	実践女子短大
19	神明一丁目	19	神明一丁目
20	日野市役所	20	日野市役所
21	消防署前	21	消防署前
22	神明野鳥の森公園	22	神明野鳥の森公園
23	多摩平七丁目	23	多摩平七丁目
24	泉塚	24	泉塚
25	多摩平第一公園	25	多摩平第一公園
26	日野市立病院	26	日野市立病院
27	市立病院入口	27	市立病院入口
28	第二中学校	28	第二中学校
29	交番前	29	交番前
30	豊田駅北口	30	豊田駅北口
31	豊田三丁目	31	豊田三丁目
32	東平山三丁目	32	東平山三丁目
33	ひらやま保育園	33	ひらやま保育園
34	平山城址公園駅	34	平山城址公園駅

性別 （ 男性 女性 ）

年代 （ 学生 学生・高齢者以外 高齢者 ）

図 1.4 乗降調査票（例）

### 1.1.3 市民アンケート調査

#### (1) 調査項目

公共交通機関利用状況及びニーズに関する以下の全 14 問。詳細は別添のアンケート調査票参照。

設問番号	項目	
I	回答者属性	年齢、性別、職業、利用できる自動車の有無等
II	外出状況	問 1 外出目的別外出頻度（通勤・通学、通院、買物、公的機関利用等）
		問 2 自分が「したい」と思う外出の実現状況と実現できていない理由
III	通勤・通学の状況	問 3 自宅外への通勤・通学の有無
		問 4 通勤・通学先
		問 5 通勤・通学の交通手段
		問 6 通勤・通学の時間帯
IV	買物の状況	問 7 買物について（場所、頻度、交通手段、時間帯）※食料品・日用品の買物とそれ以外の買物について別々に回答
V	通院の状況	問 8 通院先
		問 9 通院の交通手段
		問 10 通院の時間帯
VI	公共交通の利用状況	問 11 自宅近くの停留所名とそこまでの所要時間
		問 12 普段利用する鉄道駅名と利用頻度、駅間での交通手段
		問 13 公共交通の満足度
VII	バス等での外出頻度	問 14 バス・タクシー・自動車での外出頻度

#### (2) 調査方法

##### 1) 調査対象者

満 15 歳以上の市民 4,000 人

##### 2) 抽出方法

市内を 8 地区に区分（※中学校区に相当）し、各区より 500 サンプルを住民基本台帳より無作為抽出した。ただし、同一世帯から複数抽出しないよう配慮している。

地域区分は次ページの図を参照。

##### 3) 調査方法

郵送配布、郵送回収（回収 1604 票／回収率 40.1%）

##### 4) 調査日程

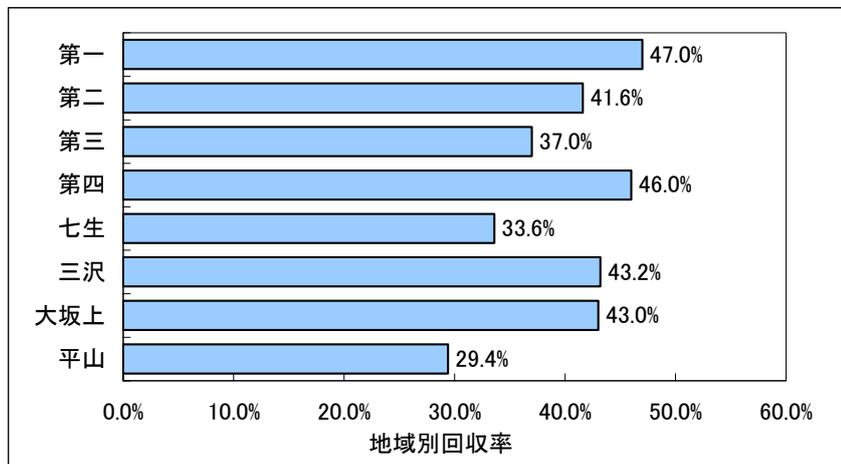
- ・用紙発送 10 月 17 日（金）
- ・回答期限 11 月 4 日（火）



図 1.5 アンケート調査地域区分図

■地域別アンケート票配布・回収状況

地域(中学校区)	人口	配布数	抽出率	回収数	回収率
第一	30,099	500	1.7%	235	47.0%
第二	20,107	500	2.5%	208	41.6%
第三	15,158	500	3.3%	185	37.0%
第四	23,906	500	2.1%	230	46.0%
七生	17,855	500	2.8%	168	33.6%
三沢	26,947	500	1.9%	216	43.2%
大坂上	25,493	500	2.0%	215	43.0%
平山	13,777	500	3.6%	147	29.4%
合計	173,342	4,000	2.3%	1604	40.1%



## 1.2 調査結果（中間報告）

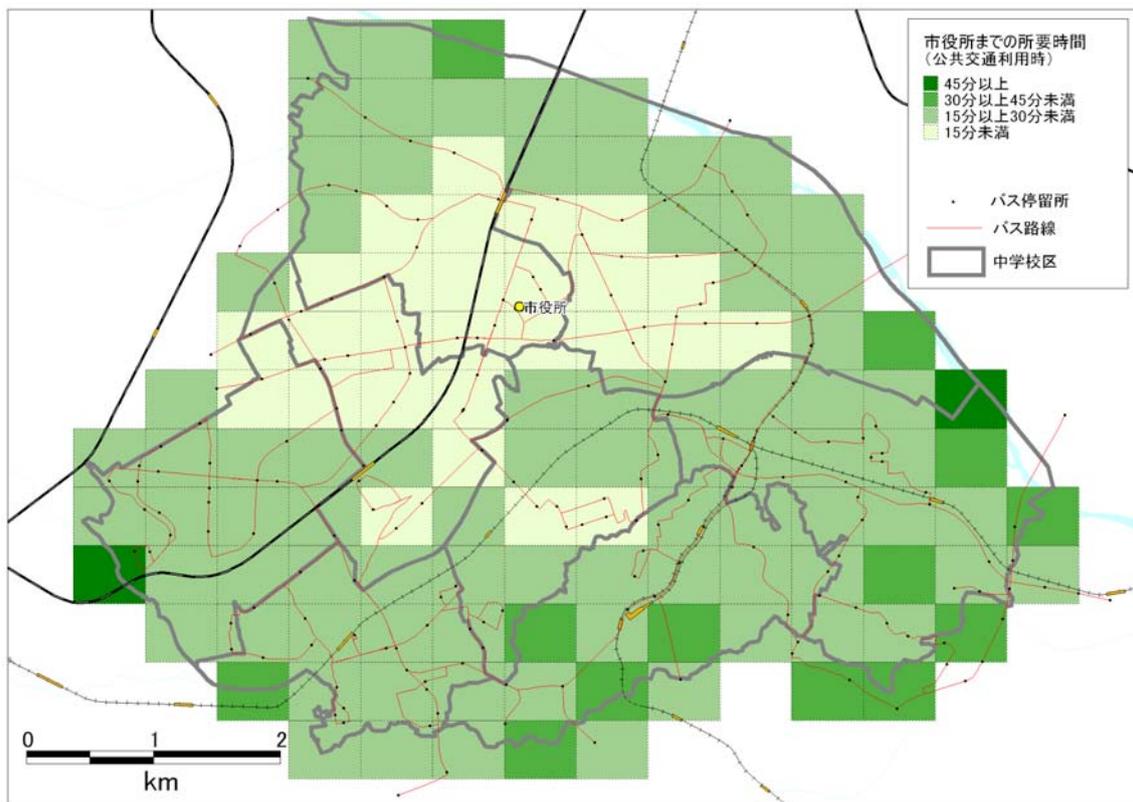
### （1）モビリティ評価

現時点の成果として、以下を報告する。

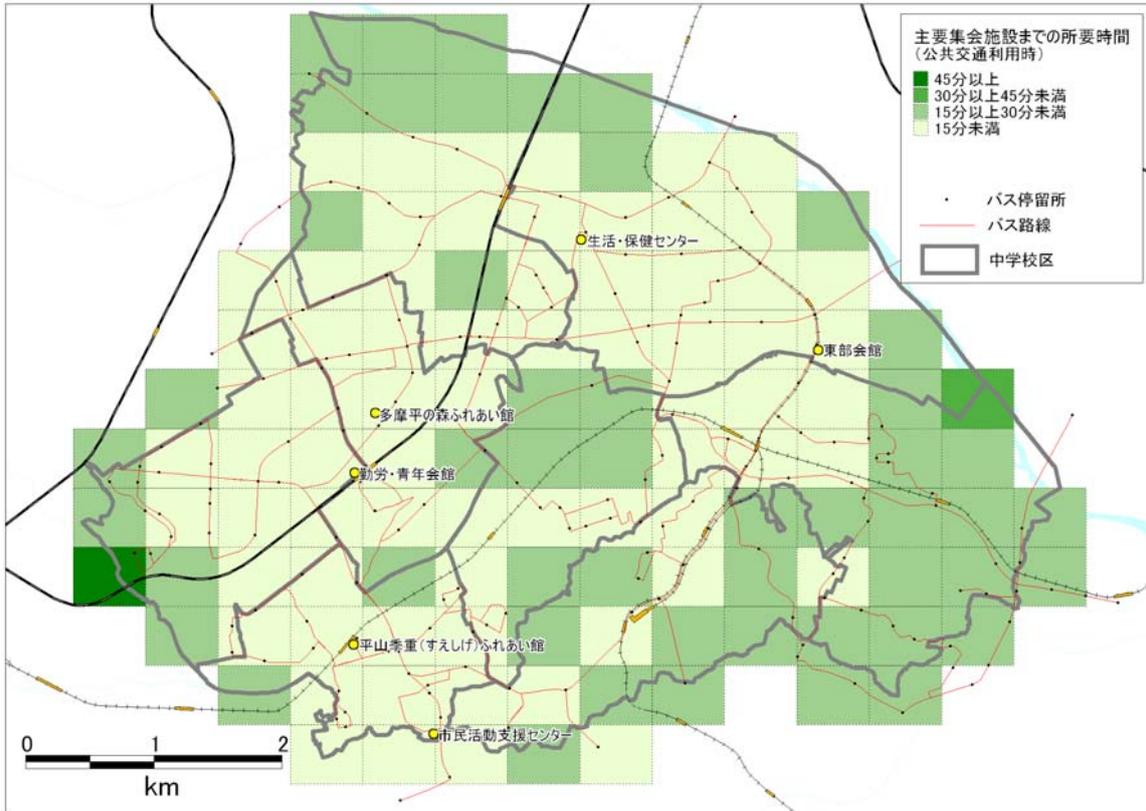
- 市役所までの所要時間
- 主要集会施設までの所要時間
- 評価メッシュ区画の標高
- 評価メッシュ区画の道路整備率

なお、現況把握のためメッシュ区画毎の高齢者人口（平成17年国勢調査結果）を整理した。結果を項末に示す。

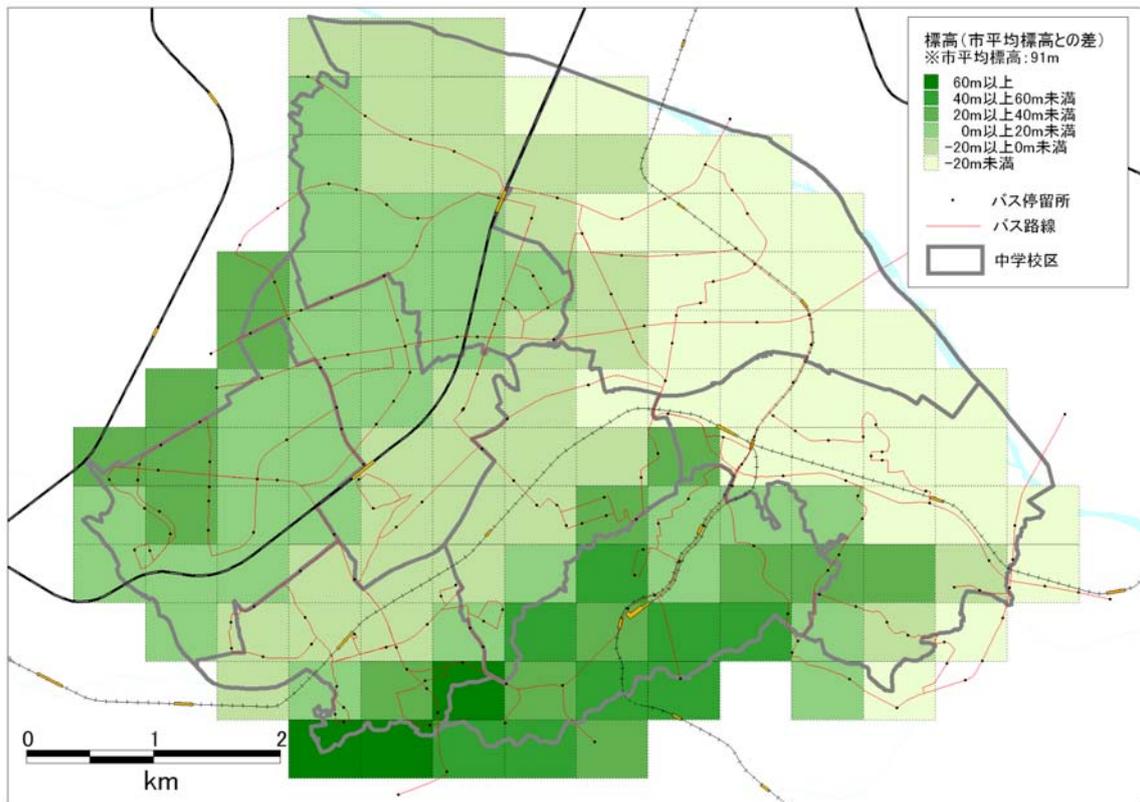
#### 1) 市役所までの所要時間



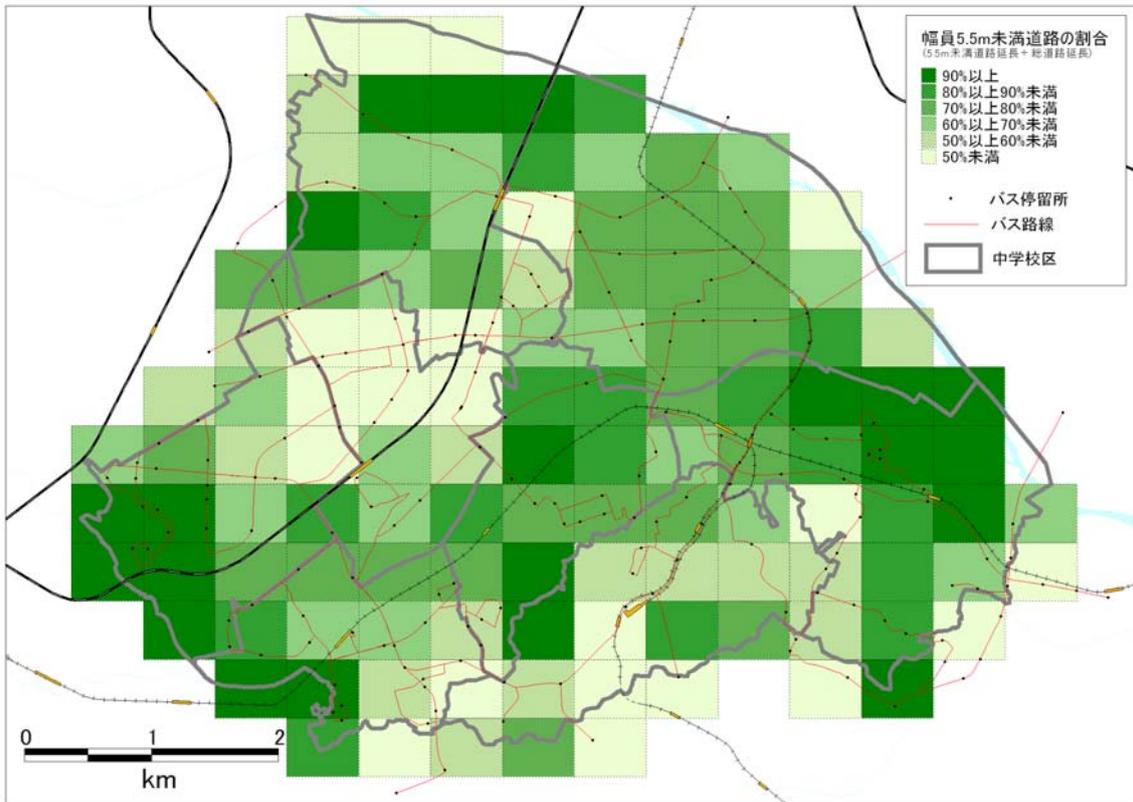
## 2) 主要集会施設までの所要時間



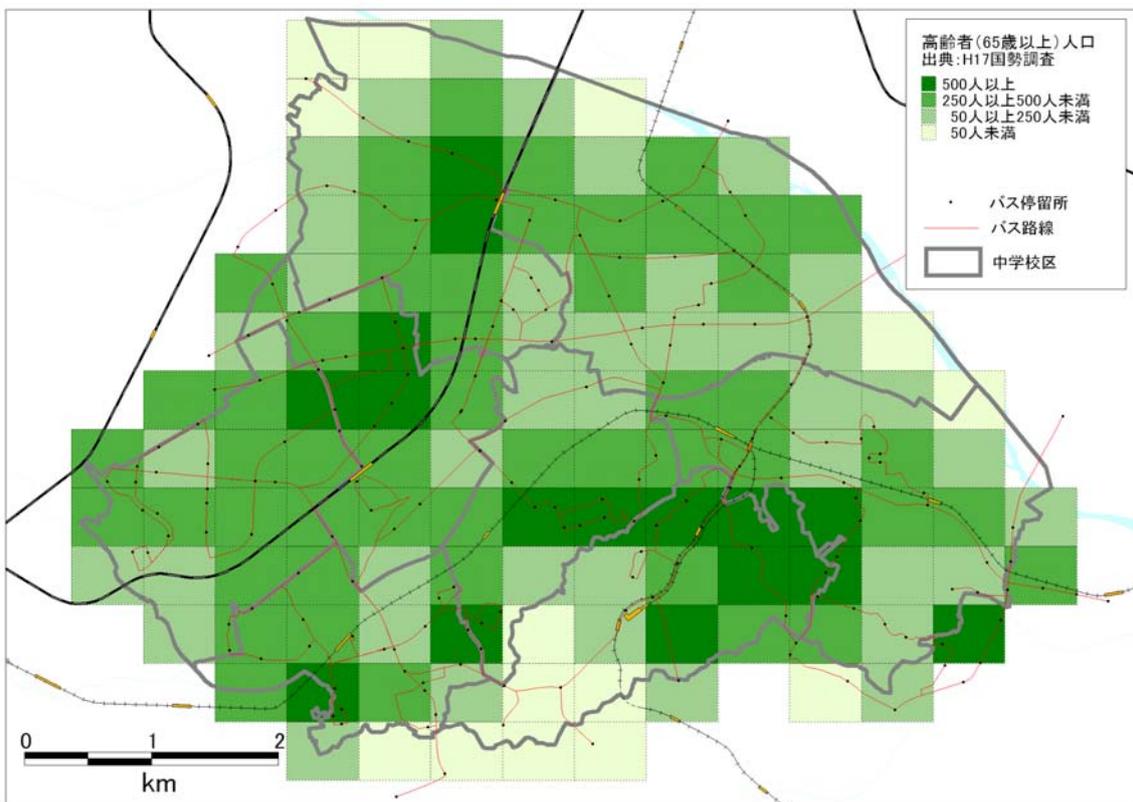
## 3) 評価メッシュ区画の標高



#### 4) 評価メッシュ区画の道路整備率

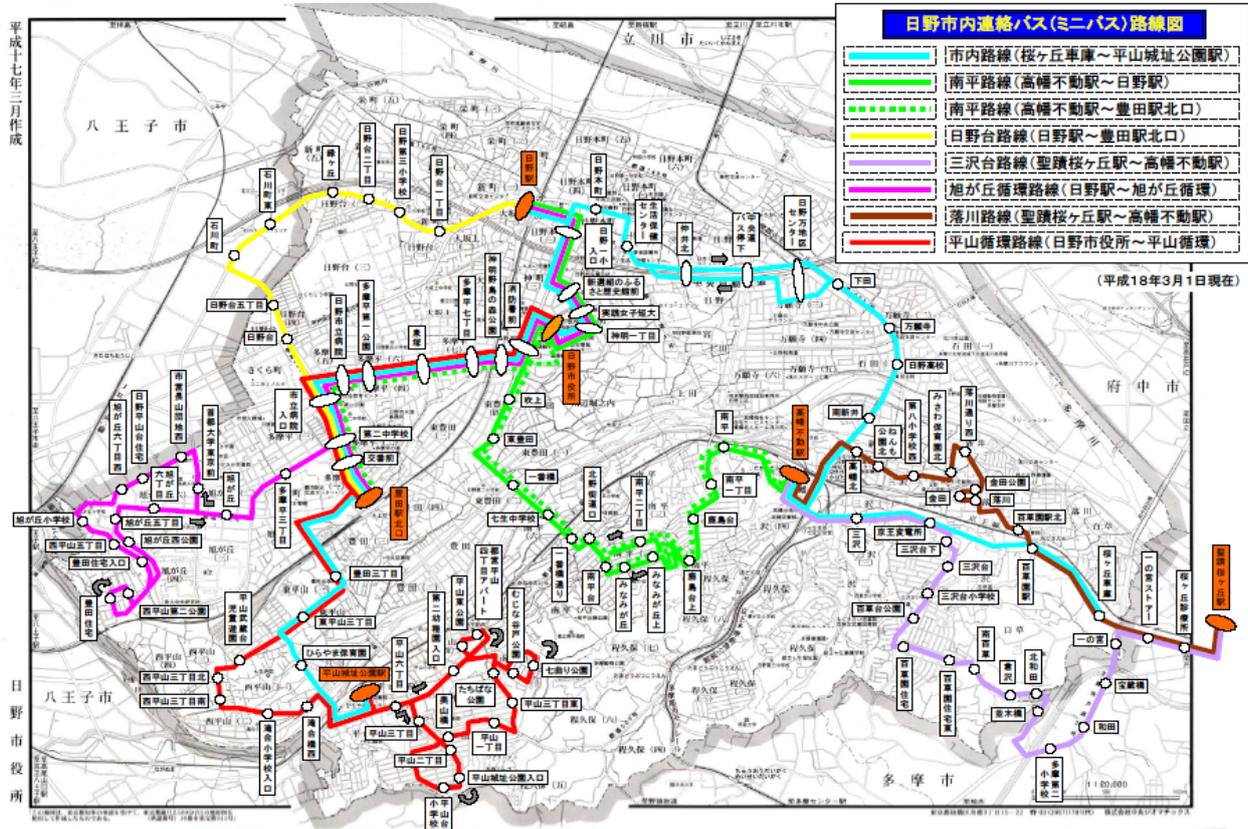


#### 5) 評価メッシュ区画の高齢者人口



## (2) ミニバス利用者数調査

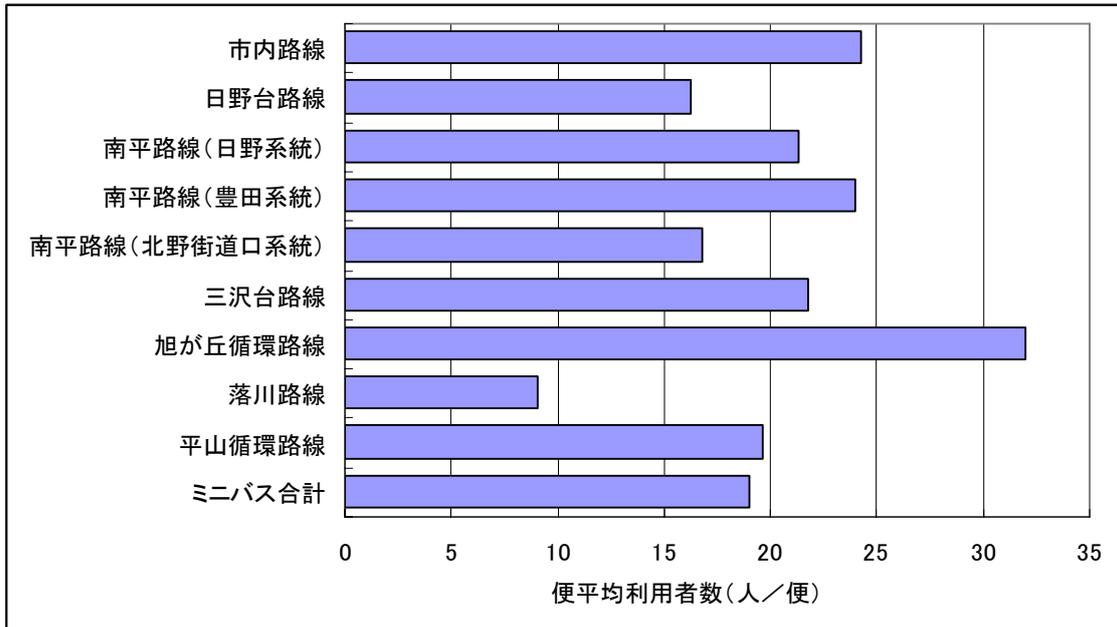
2008年11月10日(月)～11月16日(日)に、運行事業者(京王バス)がミニバス全路線(下図参照)を対象に利用者数の調査を実施した。結果を以下に示す。



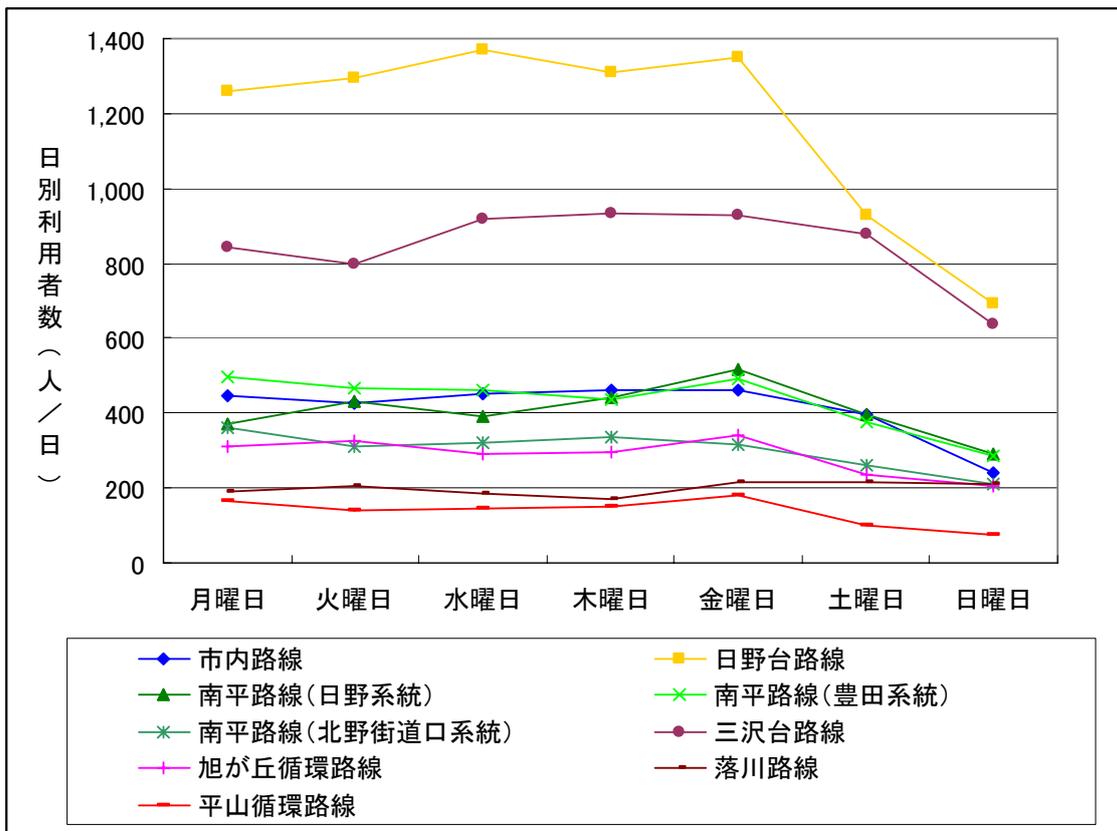
### 1) 路線別利用者数

単位：人

路線名	路線長 (km) ※往復	日便 数	週合計利 用者数	便平均 利用者 数	日別利用者数						
					11/10 月	11/11 火	11/12 水	11/13 木	11/14 金	11/15 土	11/16 日
市内路線合計	28.73	17	2,891	24.3	447	426	454	461	464	397	242
日野台路線合計	8.60	72	8,202	16.3	1,259	1,295	1,370	1,308	1,350	927	693
南平路線合計	36.02	55	7,979	20.7	1,224	1,210	1,177	1,215	1,330	1,036	787
日野系統合計	14.20	19	2,840	21.4	369	430	393	443	518	397	290
豊田系統合計	16.02	18	3,023	24.0	495	469	463	438	494	377	287
北野街道口系統合計	5.80	18	2,116	16.8	360	311	321	334	318	262	210
三沢台路線合計	13.19	39	5,933	21.7	845	798	918	935	926	876	635
旭が丘循環路線合計	16.28	9	2,012	31.9	312	328	292	295	343	235	207
落川路線合計	9.45	22	1,391	9.0	189	204	187	172	216	214	209
平山循環路線合計	19.19	7	961	19.6	167	139	147	151	181	100	76
ミニバス合計	167.48	221	29,369	19.0	4,443	4,400	4,545	4,537	4,810	3,785	2,849

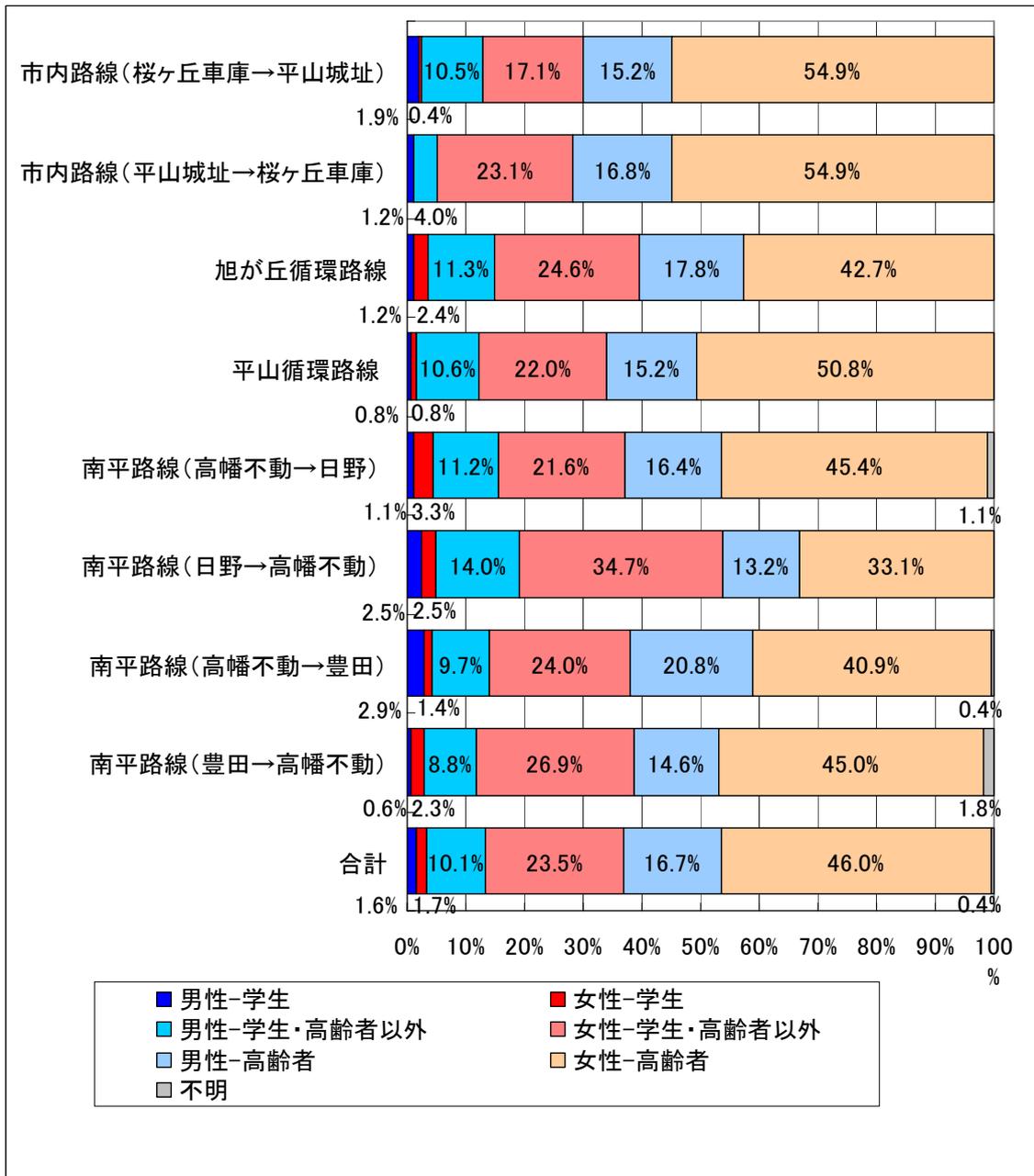


## 2) 利用者数の曜日変動



(3) ミニバス利用者OD調査

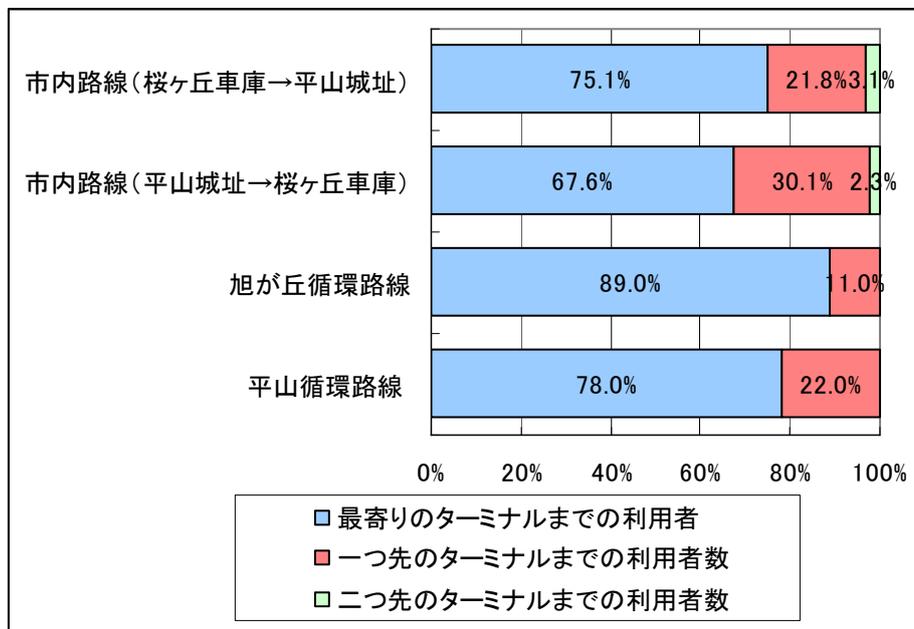
1) 路線別利用者属性



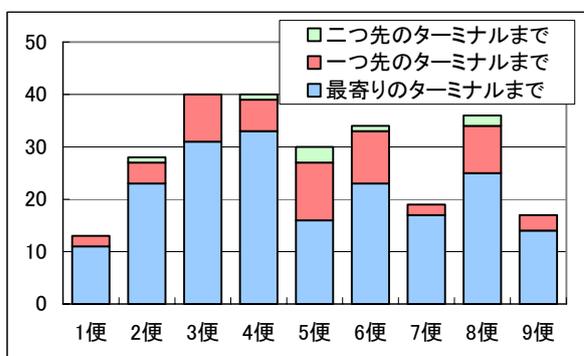
## 2) ターミナルを跨ぐ利用の状況

複数のターミナルを跨いで運行している「市内路線」「旭が丘循環路線」「平山循環路線」について、ターミナルを跨ぐ利用の状況を整理した。

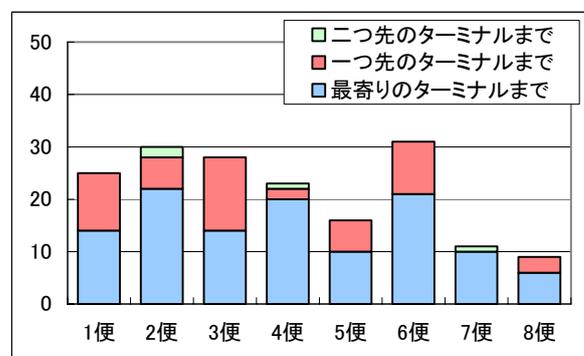
### ① 路線別利用状況



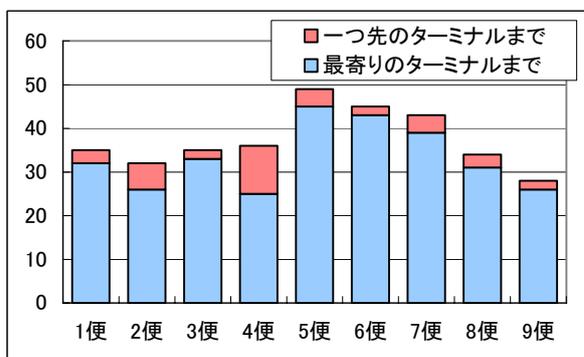
### ② 便別利用状況



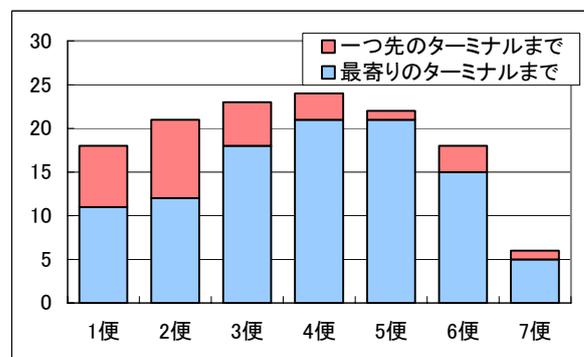
市内路線 (桜ヶ丘車庫→平山城址)



市内路線 (平山城址→桜ヶ丘車庫)



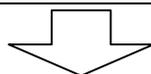
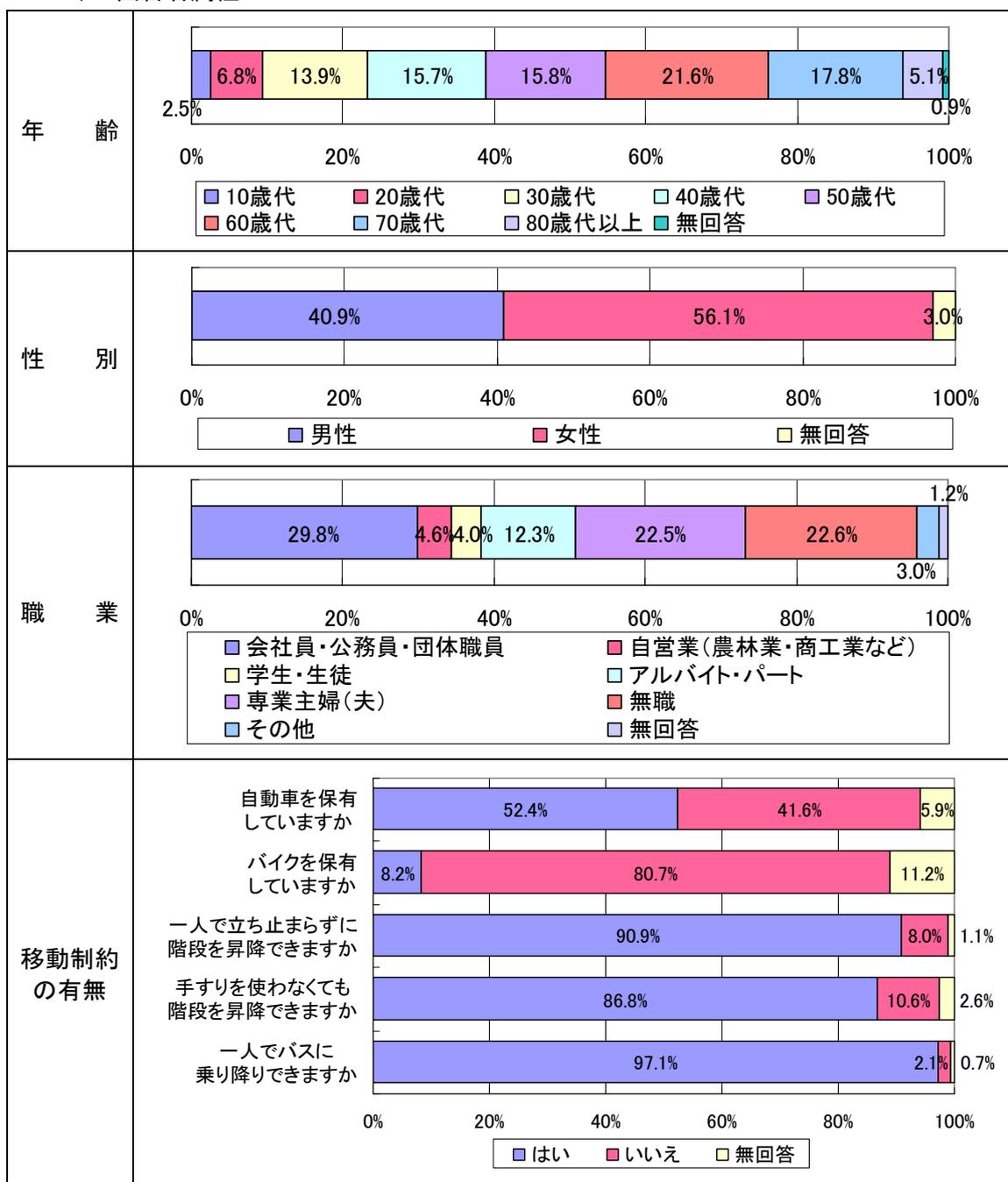
旭が丘循環路線



平山循環路線

(4) 市民アンケート調査

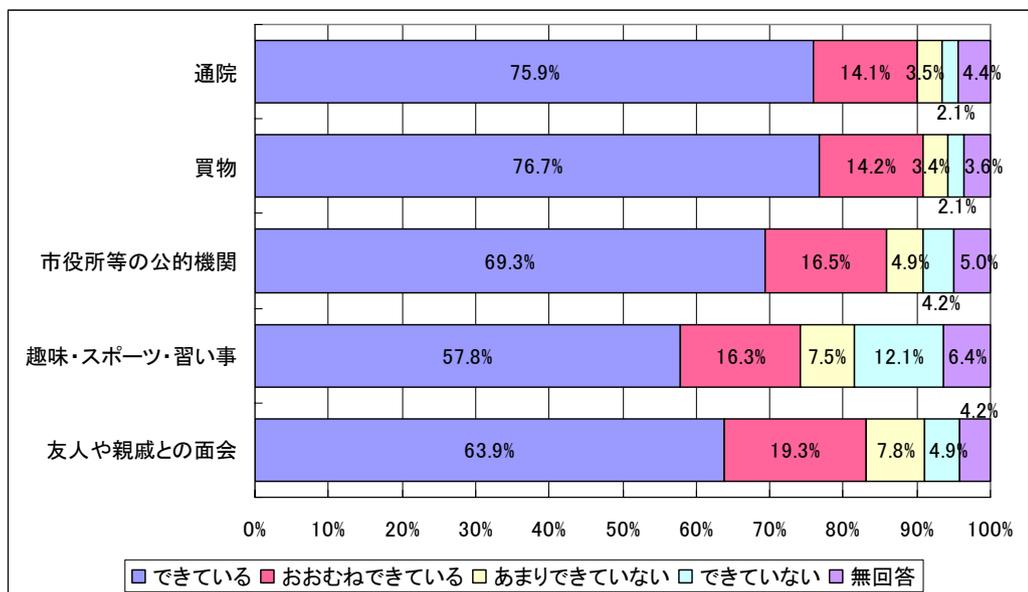
1) 回答者属性



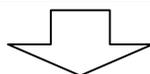
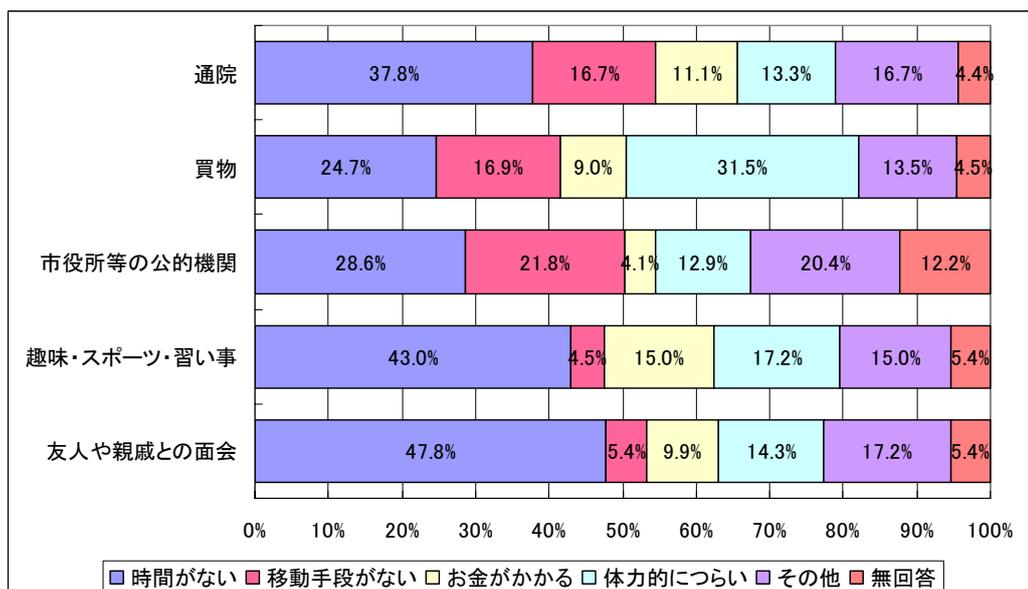
無作為抽出の調査であったが、回答者層は女性・高齢者等の「バス関心者層」に若干の偏りがみられる。

## 2) 外出状況

### ① 「したい外出」の実現状況



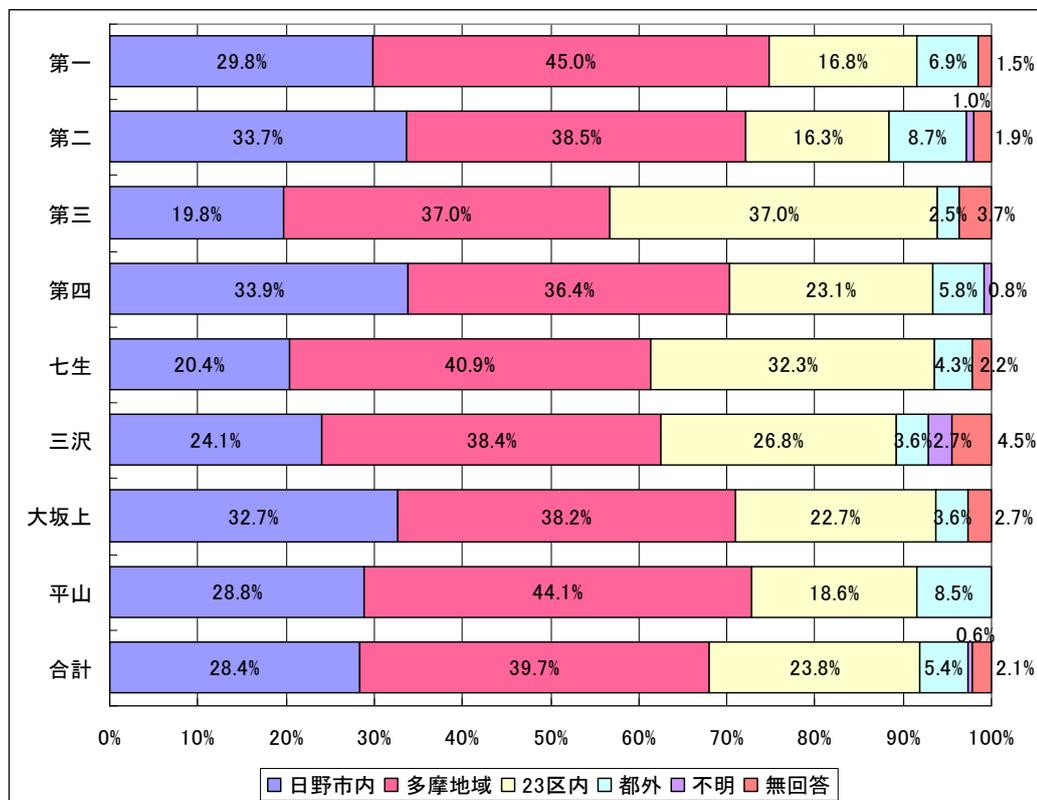
### ② 「したい外出」が実現できていない理由



移動手段がないことにより、したい外出ができていない人について、地域別分析を行う。

### 3) 通勤状況

#### ① 通勤・通学先（居住地域別）



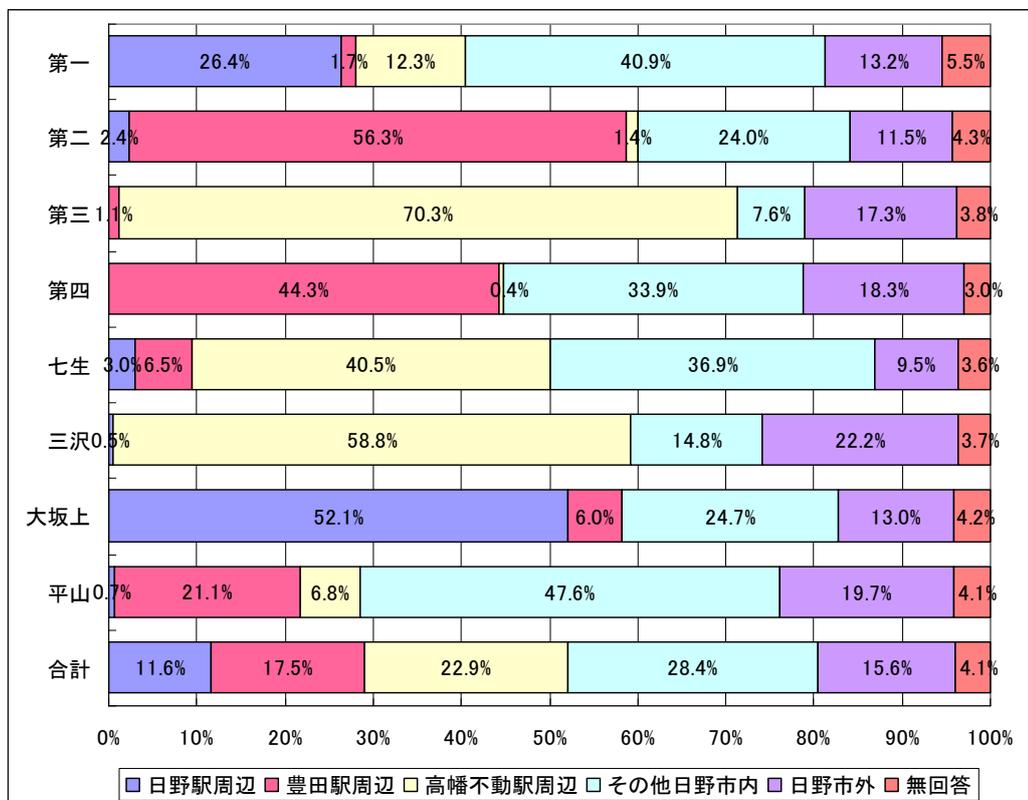
#### ② 通勤・通学の交通手段（居住地域別） ※複数回答

中学校区	第1位	第2位	第3位
第一	鉄道	自転車	自動車(自走)
	56.5%	36.6%	14.5%
第二	鉄道	自転車	自動車(自走)
	48.1%	28.8%	19.2%
第三	鉄道	路線バス	自動車(自走)
	56.8%	27.2%	18.5%
第四	鉄道	自転車	徒歩のみ
	47.9%	34.7%	20.7%
七生	鉄道	自転車	自動車(自走)
	59.1%	19.4%	17.2%
三沢	鉄道	自転車	自動車(自走)
	64.3%	19.6%	17.0%
大坂上	鉄道	自転車	路線バス
	54.5%	27.3%	17.3%
平山	鉄道	自転車	自動車(自走)
	59.3%	27.1%	20.3%
合計	鉄道	自転車	自動車(自走)
	55.5%	26.3%	16.4%

※複数回答で得られた各項目の利用割合を比較し、各地区の上位3項目を掲載した。

#### 4) 買物状況

##### ① 食料品・日用品で最もよく行く買物先（居住地域別）

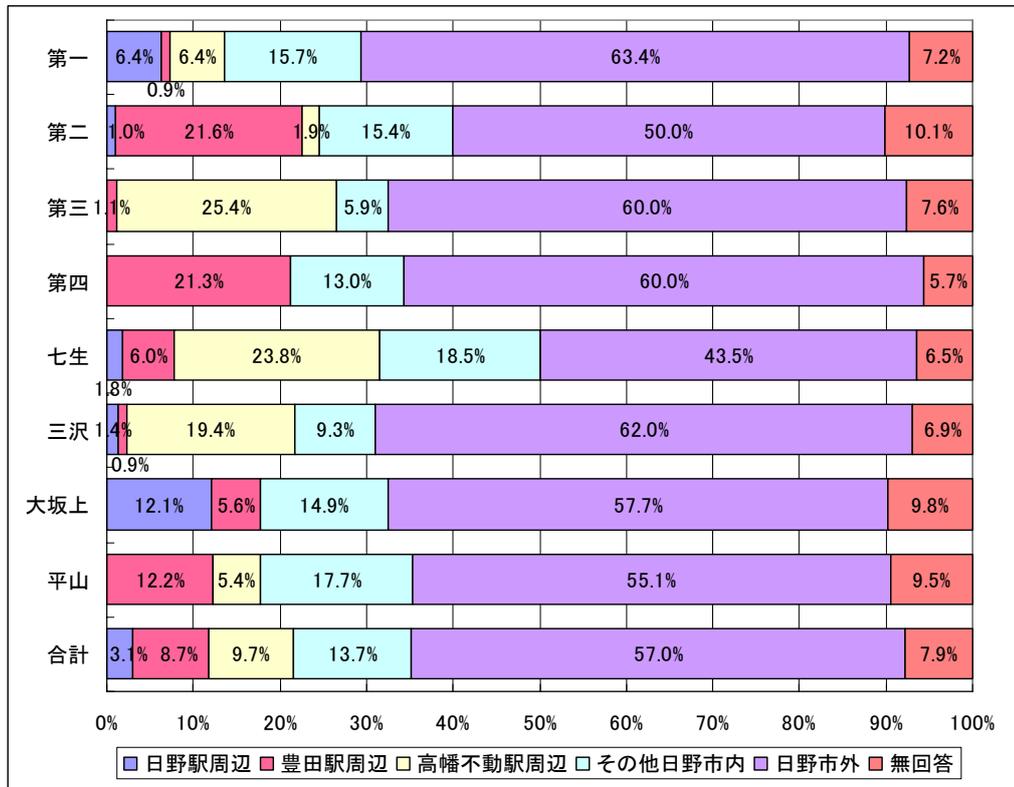


##### ② 食料品・日用品の買物交通手段（居住地域別） ※複数回答

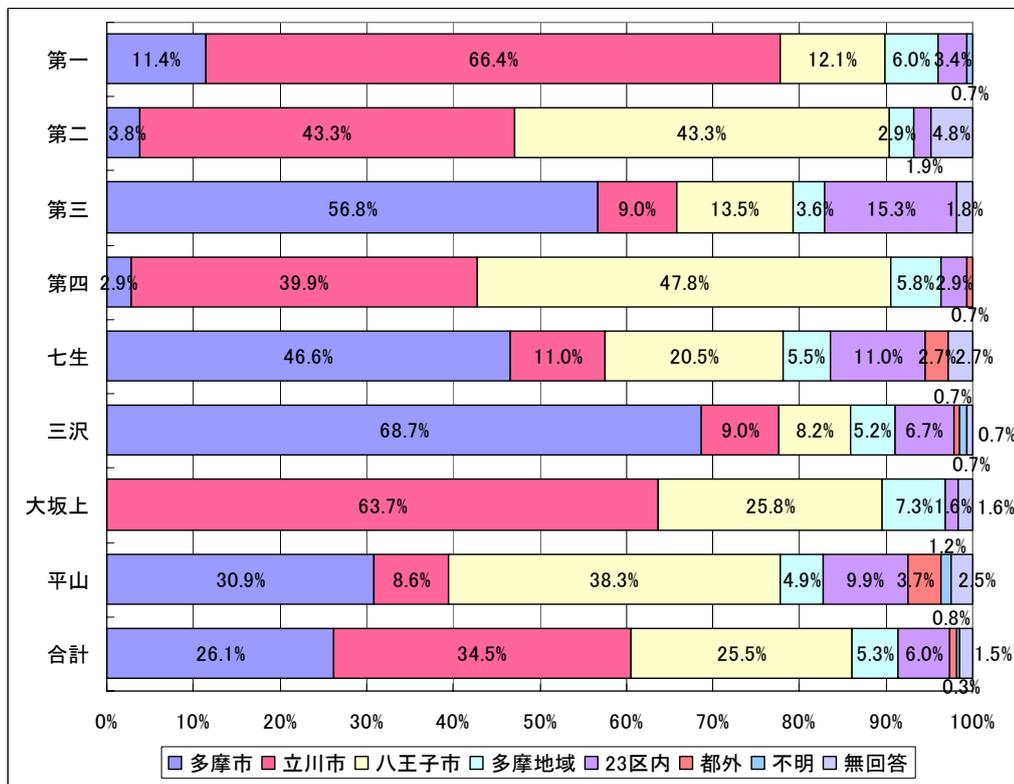
中学校区	第1位	第2位	第3位
第一	自転車 37.9%	自動車(自走) 31.9%	鉄道 13.2%
	自動車(自走) 33.2%	徒歩のみ 29.8%	自転車 28.8%
第二	自動車(自走) 30.3%	路線バス 25.4%	徒歩のみ 20.5%
	自転車 38.3%	自動車(自走) 27.0%	徒歩のみ 25.2%
七生	自動車(自走) 33.9%	徒歩のみ 24.4%	自転車 17.9%
	自動車(自走) 27.8%	徒歩のみ 25.9%	自転車 19.4%
大坂上	自動車(自走) 34.0%	自転車 26.5%	徒歩のみ 26.5%
	自動車(自走) 32.0%	徒歩のみ 25.2%	鉄道 23.8%
合計	自動車(自走) 31.1%	自転車 25.7%	徒歩のみ 23.4%

※複数回答で得られた各項目の利用割合を比較し、各地区の上位3項目を掲載した。

③ 食料品・日用品以外で最もよく行く買物先（居住地別）



※市外の内訳



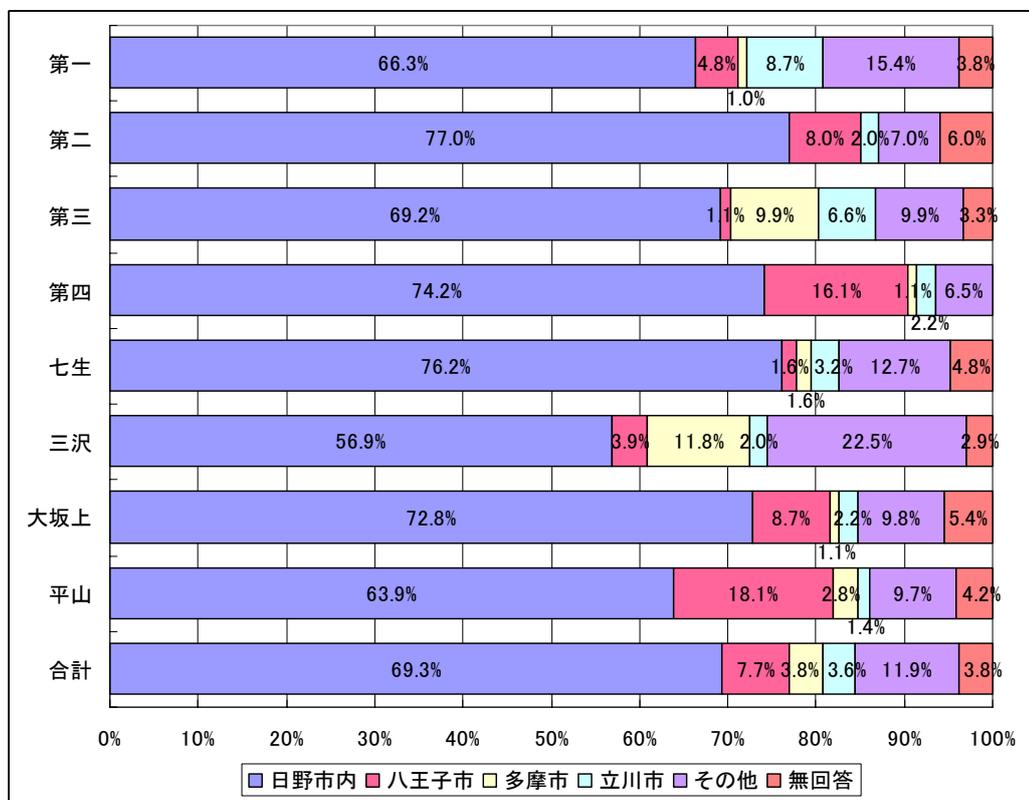
④ 食料品・日用品以外の買物交通手段（居住地域別） ※複数回答

中学校区	第1位	第2位	第3位
第一	自動車(自走)	鉄道	自転車
	32.8%	29.8%	19.6%
第二	鉄道	自動車(自走)	自転車
	31.7%	28.4%	17.8%
第三	鉄道	自動車(自走)	路線バス
	33.0%	29.7%	24.9%
第四	鉄道	自動車(自走)	自転車
	33.9%	30.0%	26.1%
七生	自動車(自走)	鉄道	ミニバス
	36.9%	35.7%	11.3%
三沢	鉄道	自動車(自走)	自転車
	31.9%	30.6%	13.4%
大坂上	鉄道	自動車(自走)	自転車
	37.2%	31.6%	17.2%
平山	鉄道	自動車(自走)	路線バス
	43.5%	29.9%	10.9%
合計	鉄道	自動車(自走)	自転車
	34.2%	31.2%	15.3%

※複数回答で得られた各項目の利用割合を比較し、各地区の上位3項目を掲載した。

5) 通院状況

① 主な通院先（居住地域別）



② 主な通院交通手段（居住地域別） ※複数回答

中学校区	第1位	第2位	第3位
第一	自転車	自動車(自走)	徒歩のみ
	26.0%	25.0%	22.1%
第二	徒歩のみ	自転車	自動車(自走)
	38.0%	22.0%	20.0%
第三	徒歩のみ	路線バス	鉄道
	36.3%	31.9%	17.6%
第四	自転車	自動車(自走)	徒歩のみ
	36.6%	22.6%	21.5%
七生	自動車(自走)	徒歩のみ	ミニバス
	28.6%	25.4%	19.0%
三沢	徒歩のみ	鉄道	自動車(自走)
	35.3%	26.5%	19.6%
大坂上	自転車	路線バス	自動車(自走)
	27.2%	20.7%	19.6%
平山	鉄道	自転車	徒歩のみ
	30.6%	20.8%	19.4%
合計	徒歩のみ	自転車	自動車(自走)
	26.8%	21.2%	20.6%

※複数回答で得られた各項目の利用割合を比較し、各地区の上位3項目を掲載した。

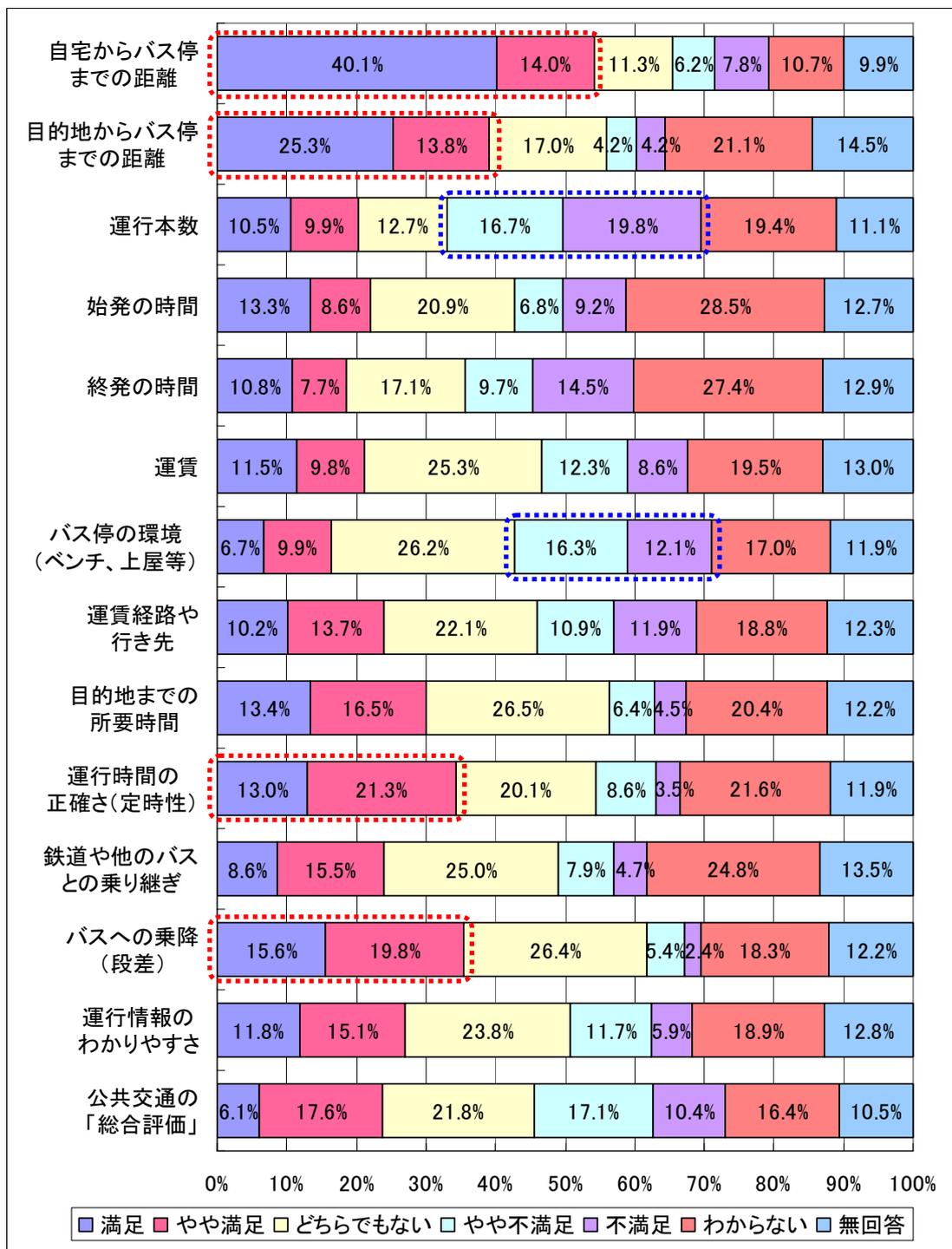
6) 公共交通利用状況

① 駅までの交通手段 ※単数回答

中学校区	第1位	第2位	第3位
第一	徒歩のみ	自転車	路線バス
	43.4%	33.2%	8.5%
第二	徒歩のみ	路線バス	自転車
	46.2%	18.3%	16.8%
第三	徒歩のみ	路線バス	ミニバス
	44.3%	31.4%	7.6%
第四	徒歩のみ	路線バス	自転車
	39.1%	23.9%	20.9%
七生	徒歩のみ	自転車	ミニバス
	54.8%	17.3%	10.1%
三沢	徒歩のみ	路線バス	自転車
	61.1%	10.2%	9.7%
大坂上	徒歩のみ	路線バス	自転車
	49.8%	16.7%	14.4%
平山	徒歩のみ	自転車	路線バス
	59.2%	14.3%	6.8%
合計	徒歩のみ	自転車	路線バス
	49.1%	16.7%	15.3%

※単数回答で得られた各項目の利用割合を比較し、各地区の上位3項目を掲載した。

## ② 公共交通の満足度



## 2. 連携計画の策定について

### 2.1 計画策定の方向性

○方向性「気軽に出かけられるまちづくり」

○基本方針「便利な交通システムをつくる」

○目標「利用しやすい交通網づくり」

#### ○計画骨子

##### ●バス路線網の再編

- ・地域連携に必要な路線の追加（高幡～豊田新路線）
- ・供給過剰区間の見直し

##### ●地域特性にあった交通システムの導入

- ・役割分担の明確化（人口密度、地形、対象者により適用サービスを定義）
- ・地域区分の設定
- ・運行計画案の策定

### 2.2 分科会の設置

- ・交通会議規約第9条に基づく分科会を設置し、計画素案の作成を進める。
- ・構成は、会長、学識経験者、事業者、事務局及びコンサルタントとする。

### 2.3 計画策定スケジュール

月日	実施内容	
平成21年1月から (3回程度)	分科会	・計画策定方針等の議論 ・事業者を交えた具体的協議 ・素案の作成
平成21年2月10日頃	協議会	計画素案の承認
平成21年2月15日から 22日まで	パブリックコメントの実施	
平成21年3月10日頃	協議会	計画策定

### 3. ワゴンタクシーの運行継続について

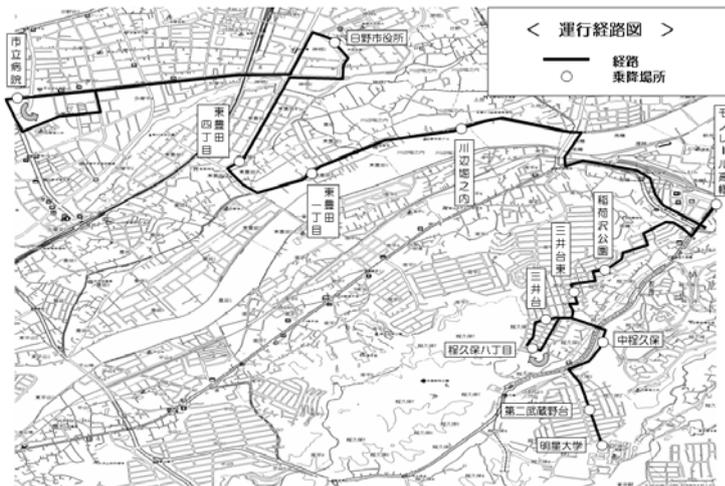
#### 3.1 背景と目的

平成 18 年の道路運送法改正により、ワゴンタクシーの運行許可条項である法 21 条は鉄道代替輸送等に限定されたため、許可期限後は新たに法 4 条乗合の許可を取得する必要が生じている。

乗合事業の許可申請にあたり、ワゴンタクシーの運行が地域の実情に応じたもので、継続の必要性があることを地域公共交通会議に諮りたく、議決事項とした次第である。

#### 3.2 現在の運行状況及び運行許可

	明星ルート	平山ルート
区間	明星大学～市立病院	平山苑上～市立病院
距離	約 21km	約 17km
便数（往復/日）	8	7
乗降所数	13	12
運賃	大人 200 円、小児 100 円、未就学児無料	
運行日	土、日、祝日、年末年始を除く毎日	
市補助金（年間）	6,000,000 円	6,000,000 円
運行許可	道路運送法第 21 条貸切乗合	
許可番号	東乗乗証第 788 号	東乗乗証第 789 号
許可期限	平成 16 年 8 月 3 日から平成 21 年 3 月 31 日まで	



明星ルート

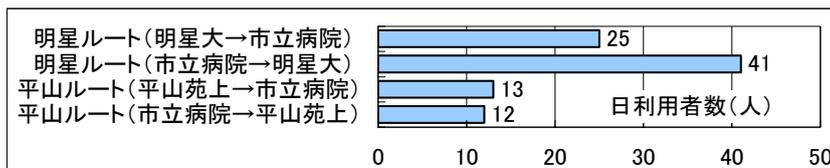


平山ルート

### 3.3 ワゴンタクシーの利用実態（調査日：2008年11月11日）

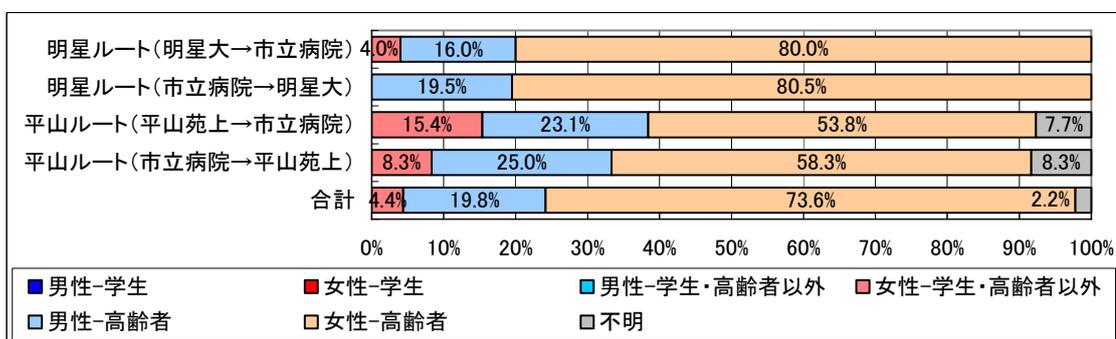
#### (1) 利用者数

路線名	便数 (便)	日利用者数 (人)	便平均利用者数 (人)
明星ルート(明星大→市立病院)	8	25	3.1
明星ルート(市立病院→明星大)	8	41	5.1
平山ルート(平山苑上→市立病院)	7	13	1.9
平山ルート(市立病院→平山苑上)	7	12	1.7
ワゴンタクシー合計	30	91	3.0



#### (2) 利用者属性

	学生		学生・高齢者以外		高齢者		不明	合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
明星ルート(明星大→市立病院)	0	0	0	1	4	20	0	25
明星ルート(市立病院→明星大)	0	0	0	0	8	33	0	41
平山ルート(平山苑上→市立病院)	0	0	0	2	3	7	1	13
平山ルート(市立病院→平山苑上)	0	0	0	1	3	7	1	12
合計	0	0	0	4	18	67	2	91



#### (3) 意見・要望等

- ・車を運転しないので助かっている。運行本数を増やしてほしい。
- ・ワゴンタクシーの時間に合わせて買い物に行っている。
- ・土日にも運行してほしい
- ・停留所の増設を望む

### 3.4 運行継続について

利用者自体は少ないが、高齢者を中心に活用されている。交通不便地区における移動制約者のモビリティ向上という、当初の目的は果たされていると考えられる。連携計画の策定に合わせ見直しの必要がある（特に平山ルート）が、現時点では運行を継続することとしたい。